

新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針
～具体的な感染拡大防止対策～

1. 日程について

1) 日程

令和4年2月6日(日)

- 8時30分 開場 * 1F エントランスで検温を受け受付にお進みください。
受付 * 所属の代表者は係員の指示に従い受付をお願いします。
更衣 * 男子は剣道場において一定の間隔を置いて行ってください。
女子は女性用更衣室をご利用ください。
- 9時30分 監督・審判会議 * 第1研修室で行います。
- 10時 開会式 * 5分前に事前練習を終え整列をお願いします。
- 10時10分 試合開始 * 敗戦した選手は退場(帰宅)をお願いします。

2. 入場制限について

1) 無観客

観客の入場を認めない。

2) 入場を認める参加者

- ①選手 各所属のエントリーが奇数の場合はプラス1名まで。
- ②監督・所属責任者 各1名
- ③大会役員・事務局員

3. 健康観察表等の提出及び検温の実施

1) 健康観察表の提出

各所属の監督は「健康観察表」を受付の際、係員に提出する。

2) 検温の実施

入場を認められた全ての関係者は入場時に検温を実施する。

3) 参加の取りやめ

「健康観察表」の提出に不備がある場合、また、記載内容に問題がある場合、
検温にて異常が認められた場合は、大会実行委員会の判断により大会への参加を認めない。

4. 会場使用時の注意点

1) 入場(受付)

入館後、速やかに検温を行い、所属監督のみ受付を行うこと。

2) 選手の更衣場所

男子は「剣道場」で更衣し、荷物は各所属まとめて置く。

女子は多目的競技場奥の女子更衣室にて更衣すること。

3) 待機場所

試合までの待機は「剣道場」で一定の間隔をとり行うこと。

自己の行う3試合前から「柔道場」への入場を認める。所属責任者は出場者と連携をとり、試合の進行状況を把握させておくこと。

試合のない選手は「柔道場」には立ち入れない。

5. マスクの着用について

- 1) すべての参加者(選手・監督・所属責任者)及び大会関係者に常時マスクの着用を義務付ける。ただし、試合を行う選手については、これを除外する。
- 2) 準備運動時、開会式もマスクを着用して整列すること。

6. 手指消毒の徹底について

- 1) 会場に入場するときには必ず手指消毒を行うこと。トイレからの再入場の際も同じである。
- 2) 試合前後の消毒
試合をする選手は試合前後に必ず手指消毒を行うこと。

7. 身体的距離の確保等について

身体的距離を確保して感染防止に配慮するとともに、参加者には適時適切な身体的距離を確保し、行動するように強く依頼する。

8. 感染拡大防止のための選手・監督の行動について

1) 試合前

- ①選手は自身の試合の3試合前に「柔道場」に入ること。
- ②審判員より目視で柔道衣コントロールを受けること。
- ③各自手指消毒を行うこと。

2) 試合中

- ①選手には大きな発声をしないように自粛を求める。
- ②会場内において、大きな声での会話や応援等をしないこととする。特に試合中の監督による大声での指示や指導は大会申し合わせ事項により禁止とする。

3) 試合後

- ①試合終了後は速やかに「柔道場」からの退場を求める。ミーティング等は密をさけて会場外で実施すること。
- ②帰宅後はすぐにシャワー等を浴び、柔道衣・衣服の洗濯、用具の消毒等の実施を奨励する。

9. 開会式・閉会式について

- ①開会式は「柔道場」に間隔を取って整列し簡易に行う。
- ②閉会式は入賞者の表彰のみ行う。

10. 柔道衣コントロールについて

1) 柔道衣コントロール

選手を全員集合させて一斉には行わず、各試合前に待機場所にて、審判員が目視で確認を行う。なお、疑義が生じた場合は各試合場において審判員が測定器具を用いて検査を行う。規格に不適合と判断された場合は、「失格」となることを理解の上、選手・監督は責任をもって規格に適合しているか、事前に確認すること。

2) 赤白帯

組み合わせの赤白を示す赤白の帯について、各自が赤白それぞれの帯を持参することを義務付ける。なお、感染防止の観点から、大会本部では準備しない。

11. その他

- 1) 会場内での水分補給以外の飲食は禁止とする。水分補給は観客席のみ認める。その際は、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避け会話を控えると同時に、飲料については紙コップ等を使用し、共用はしないこと。
- 2) タオルの共用はしないこと。
- 3) 各自が責任をもって、ゴミの持ち帰りをを行うこと。